

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	東海駅西口駅前広場整備事業（基金造成）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		茨城県東海村		
交付金事業実施場所		茨城県那珂郡東海村舟石川駅西地内		
交付金事業の概要		東海駅西口広場の再整備に要する経費への基金造成		
総事業費		196, 131, 000	交付金充当額	196, 131, 000
			うち文部科学省分	0
			うち経済産業省分	196, 131, 000
交付金事業の成果目標		東海駅西口広場は昭和59～60年度に設置され、村外からの来訪者等を迎える玄関口として重要な役割を果たしているほか、通勤・通学を始めとする多くの村民が利用しており、鉄道利用者はもちろんのこと、駅利用者の送迎車両の出入りや、バスやタクシー等の利用にも供される交通拠点となっているほか、駐輪場が設置されているため、自転車・オートバイ車両も多く通行しています。広場整備から30年以上が過ぎ、周辺環境が大きく変化したことで、平成26年度に改めて交通需要や機能について見直したところ、通過交通による危険箇所や送迎車両による渋滞、バリアフリーへの配慮不足等、さまざまな課題が浮き彫りとなり、現状に即した再整備の必要性を要するものです。 また、本整備は、東海村第5次総合計画後期基本計画における施策6-2-1「住みよい住環境を形成する」、施策6-2-2「安全で快適な道路の整備・維持管理を行う」及び施策3-3-2「障がい者が暮らしやすい環境整備を行う」の具現化のために、実施する事業であり、安全性及び利便性を向上させることで、もって地域住民の福祉の向上を図るものです。		
交付金事業の成果指標		通過交通の分離による駅前広場の渋滞解消（通過交通量：ピーク時197台／時→0台／時）の達成を目指すとともに、タクシーの死角となっている駅前歩行者横断路の死角を無くすことで危険者の解消（横断者数：ピーク時94人／時→0人／時）の達成を目指します。		
交付金事業の成果及び評価		当基金の造成により、東海駅西口広場の再整備への財政的基盤を築くことができました。また、基金による財源の確保により、計画的な工事の実施が可能となったことで、渋滞解消（通過交通量：ピーク時197台／時→0台／時）及び横断危険者解消（横断者数：ピーク時94人／時→0人／時）への足掛かりとすることができました。平成30年度についても基金の積立を行うとともに、計画的な取り崩しにより、施設の維持補修を図ってまいります。		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	基金の造成	積立	－	196, 131, 000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
特になし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成33年度予定	

- （備考）
- （１） 事業ごとに作成すること。
 - （２） 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - （３） 交付金事業の成果目標の欄は、電源用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
 - （４） 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
 - （５） 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - （６） 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
 - （７） 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。